

東海環状自動車道の状況と 高速道路のストック効果

平成28年7月14日

国土交通省 中部地方整備局
道路部長 小野寺 誠一

東海環状自動車道の状況

○名古屋市を中心とした約40km圏に位置する延長約160kmの環状道路
○全体の5割が開通済み。残る区間について、用地買収・工事等を推進中



三重県区間の状況



(大安IC)

平成30年度
開通見通し

東員IC

平成28年度
開通見通し

至新四日市JCT

至 養老JCT

平成28年3月撮影



平成28年4月撮影

大安IC付近の状況

平成28年6月撮影

至四日市JCT

新名神高速道路

東洋ゴム工業

新四日市
JCT



東員ICから新四日市JCT望む

養老JCT ~ (養老IC) の状況

平成27年12月撮影

至 新四日市JCT

(養老IC)

平成29年度
開通見通し

養老JCT

名神高速道路

至 美濃関JCT

平成28年6月撮影

牧田川橋の状況

牧田川

牧田川

(大野・神戸IC) ~ 大垣西ICの状況

平成27年12月撮影

至 大垣西IC

平成31年度
開通見通し

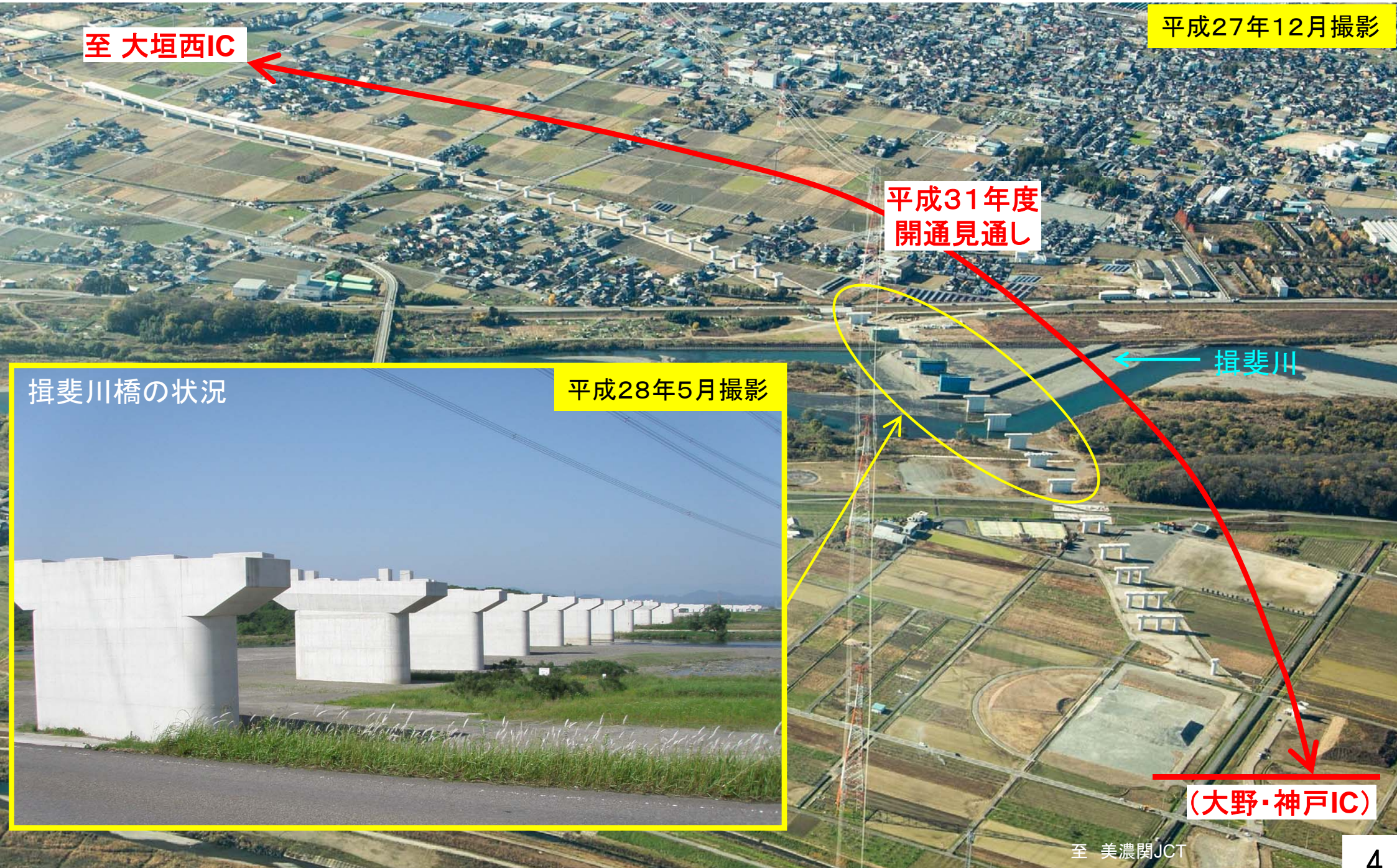
揖斐川

揖斐川橋の状況

平成28年5月撮影

(大野・神戸IC)

至 美濃関JCT

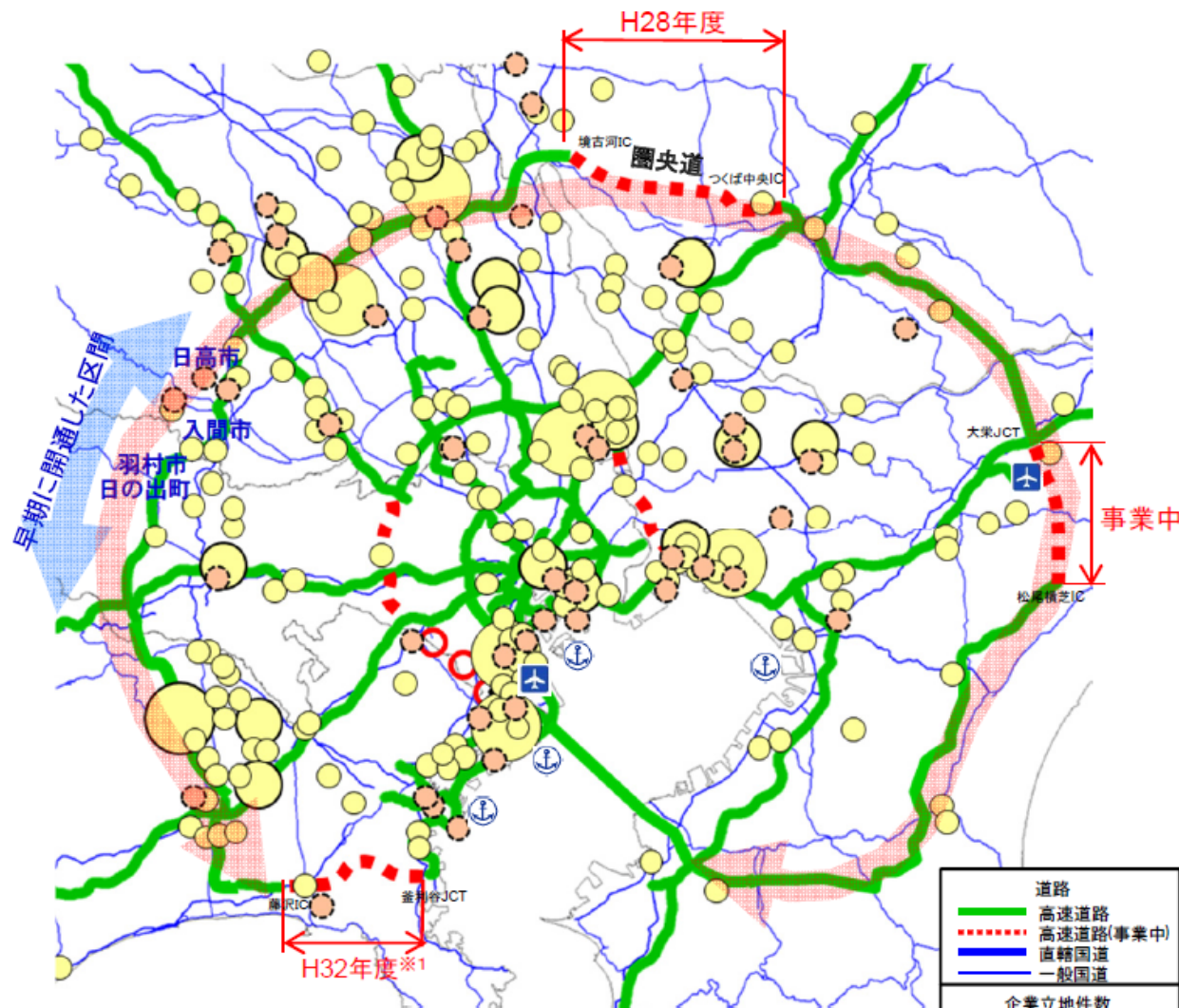


関広見IC～(高富IC)の状況



製造業を支援（首都圏中央連絡自動車道）

- 圏央道等の沿線には工場や物流施設が多数集積
- 工場立地面積が約6倍、沿線4市町の製造品出荷額が約1.5倍に増加



- ※1区間の開通時期については土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合
- 久喜白岡JCT~木更津東IC間は、暫定2車線
- 圏央道の釜利谷JCT~戸塚IC、栄IC・JCT~藤沢IC、大栄JCT~松尾横芝IC区間以外のIC・JCT名は決定

出典) 国土交通省調べ(平成22年以降に竣工(予定)の物流施設および工場を対象に作図)

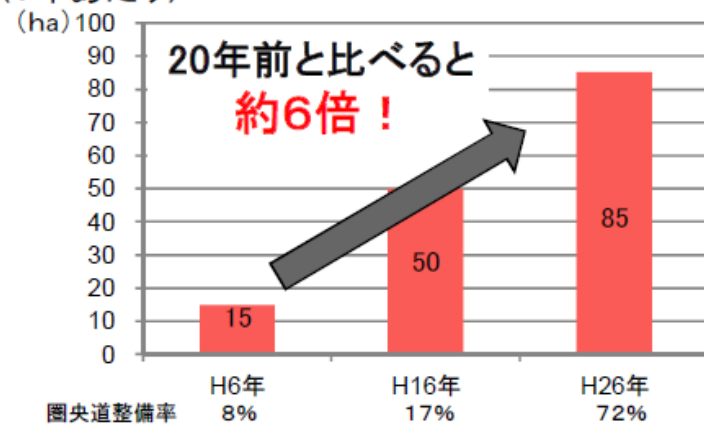
製造品出荷額の上昇

平成19年に全通した中央道~関越道間ではすでにストック効果が発現
 早期開通区間の沿線4市町では、埼玉県と東京都の全体平均の約1.5倍

製造品出荷額の伸び率



圏央道沿線市町村※の新規工場立地面積(1年あたり)



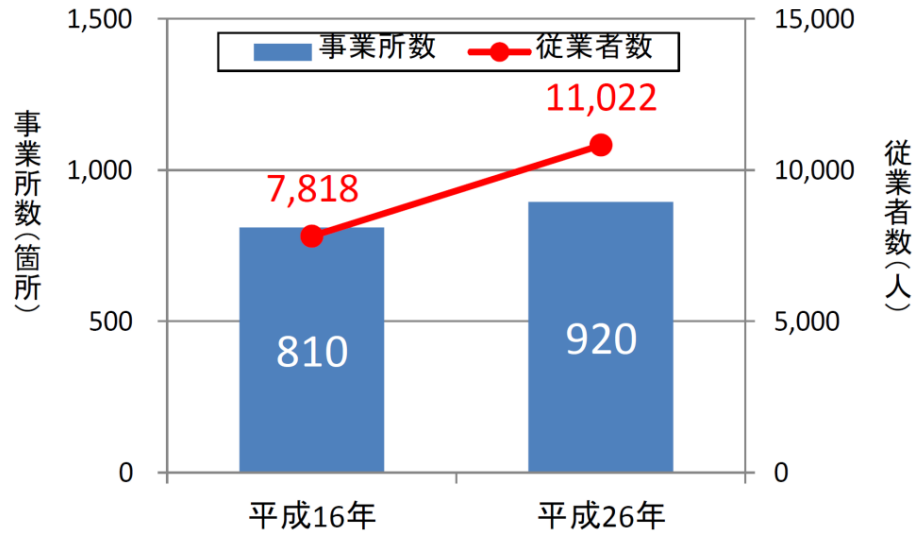
※圏央道が通過する市町村を対象とした
 出典: 工場立地統計調査

産業基盤づくりの推進（首都圏中央連絡自動車道）

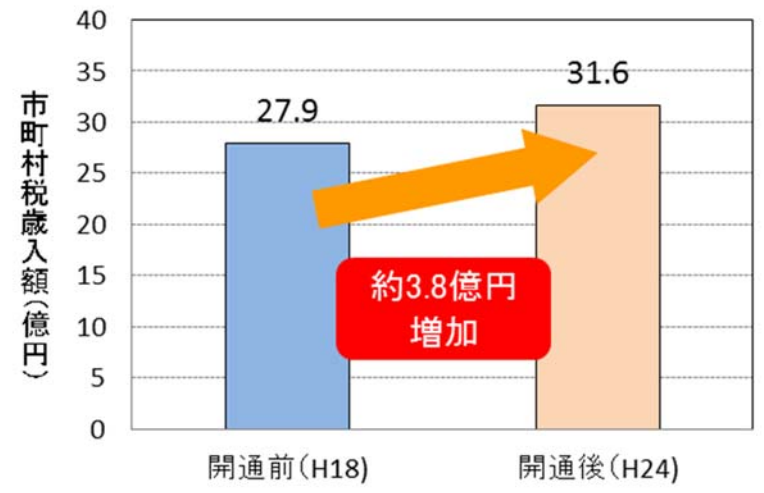
○川島インター周辺では、埼玉県が川島インター産業団地を整備し、**埼玉県と川島町が連携し、企業立地を推進**。（埼玉県川島町かわじま一丁目、二丁目）



開発面積： 約47ha
 進出企業： 敷島製パン、松屋フーズ、ニプロ等11社



■川島町における事業所数と従業員数の変化



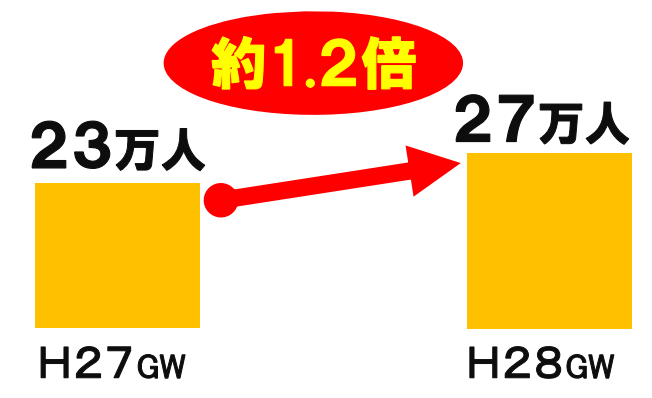
■川島IC開通前後における町税歳入額の変化

地域活性化を支援（新東名高速道路）

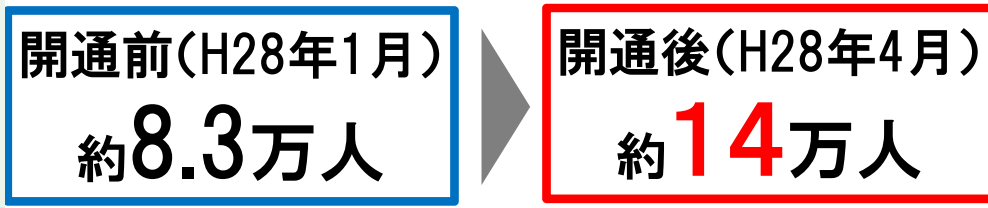
- 新東名の開通により、奥三河・西遠地域への来訪者が**約1.2倍増加**
- 道の駅「もっくる新城」では、**来訪者が1.7倍増加**、地域活性化に貢献



■ 奥三河地域・西遠地域近郊の来訪者数



■ 道の駅「もっくる新城」の賑わい



約1.7倍増加



地域の魅力を発信（新東名高速道路）

- 奥三河地域では、観光振興等の諸活動を**官民一体となって実施**
- 道の駅「もっくる新城」を観光ハブステーションとして**地域の魅力を発信**

■（一社）奥三河観光協議会

代表（新城市長）
社員（新城市、設楽町、東栄町、豊根村、豊橋鉄道株式会社、一般財団法人茶臼山高原協会、東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社、愛知県商工会連合会新城設楽支部、愛知東農業協同組合）

○観光に関する地域の情報をホームページに集約し、定期的にイベント等を紹介



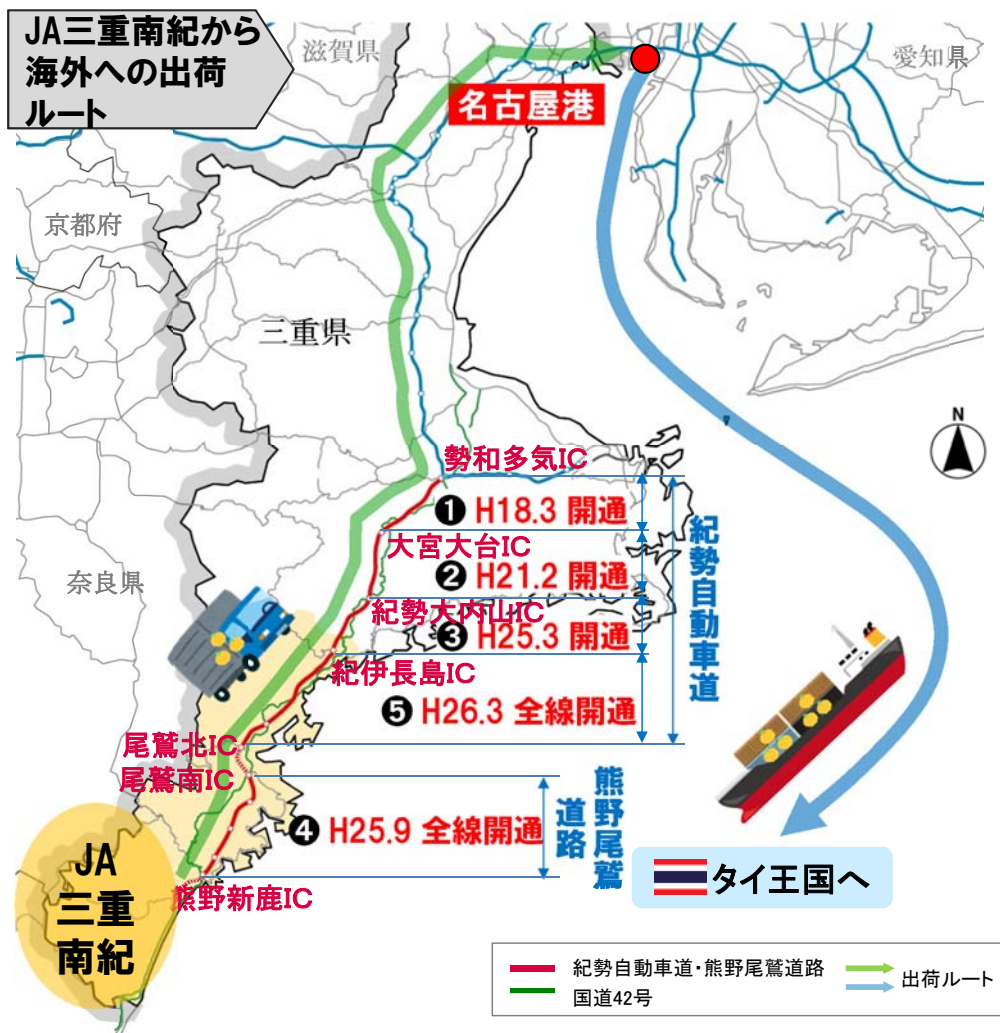
○奥三河観光ハブステーションを目指す道の駅「もっくる新城」

コンシェルジュが
来訪者の要望に応じた
観光プランを提案

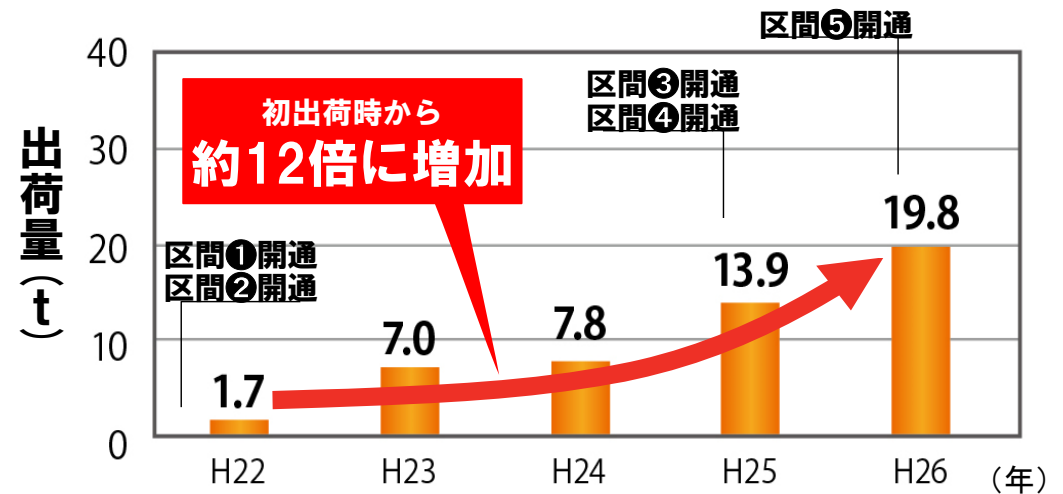


農産物の輸出拡大を支援（紀勢線）

- JA三重南紀は、近年、「**三重南紀みかん**」を**タイ王国**へ輸出
- 高速道路の開通により、峠道の揺れによる荷傷みが少なくなるなど、安定輸送が実現し、**輸出量が初出荷時から約12倍に増加**



「三重南紀みかん」のタイ王国への出荷量の変化



安定輸送が実現した「三重南紀みかん」

海外輸出の新規開拓（紀勢線）

○東紀州南部地域は、タイ王国の「フルーツ好きで消費量が多い」国民性を踏まえ、みかんの出荷先として**新規開拓のPR活動を推進**

■三重南紀元気なみかんの里創生プロジェクト協議会

【構成】 J A 三重南紀・三重県・熊野市・御浜町・紀宝町

【目的】 基幹作物である柑橘をはじめ、その他農産物の生産振興並びに農業資源等を活用した産業観光の推進により、活力に満ちた地域づくり



H27.12.15 祝賀レセプションでのPR活動

<平成20年度～>

- ・協議会を設立、事前調査

<平成22年度～>

- ・試験輸出、タイ政府から輸出生産地域の指定

<平成23年度～>

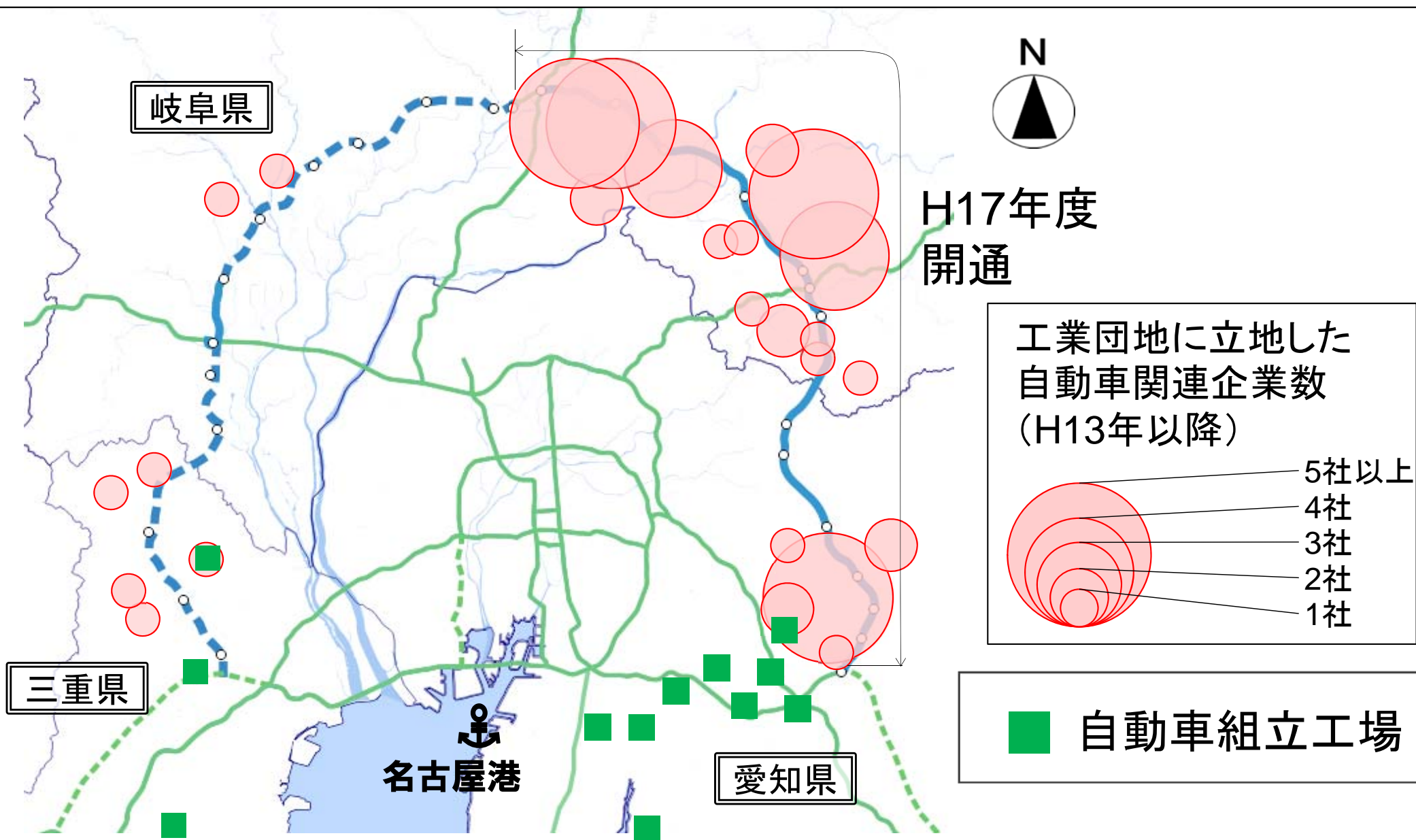
- ・本格輸出、輸出品種の拡大（4品種）
- ・PR活動の実施
（タイ王室への献上・日本大使館レセプション）

<平成27年度>

- ・更なる品質向上等を目指し、
統一選果場 柑橘新選果プラントが完成

【参考】東海環状自動車道(東回り)の効果

- 東海環状東回りの開通により、沿線に工業団地が立地
- 自動車関連企業が約60社進出



土岐市・多治見市

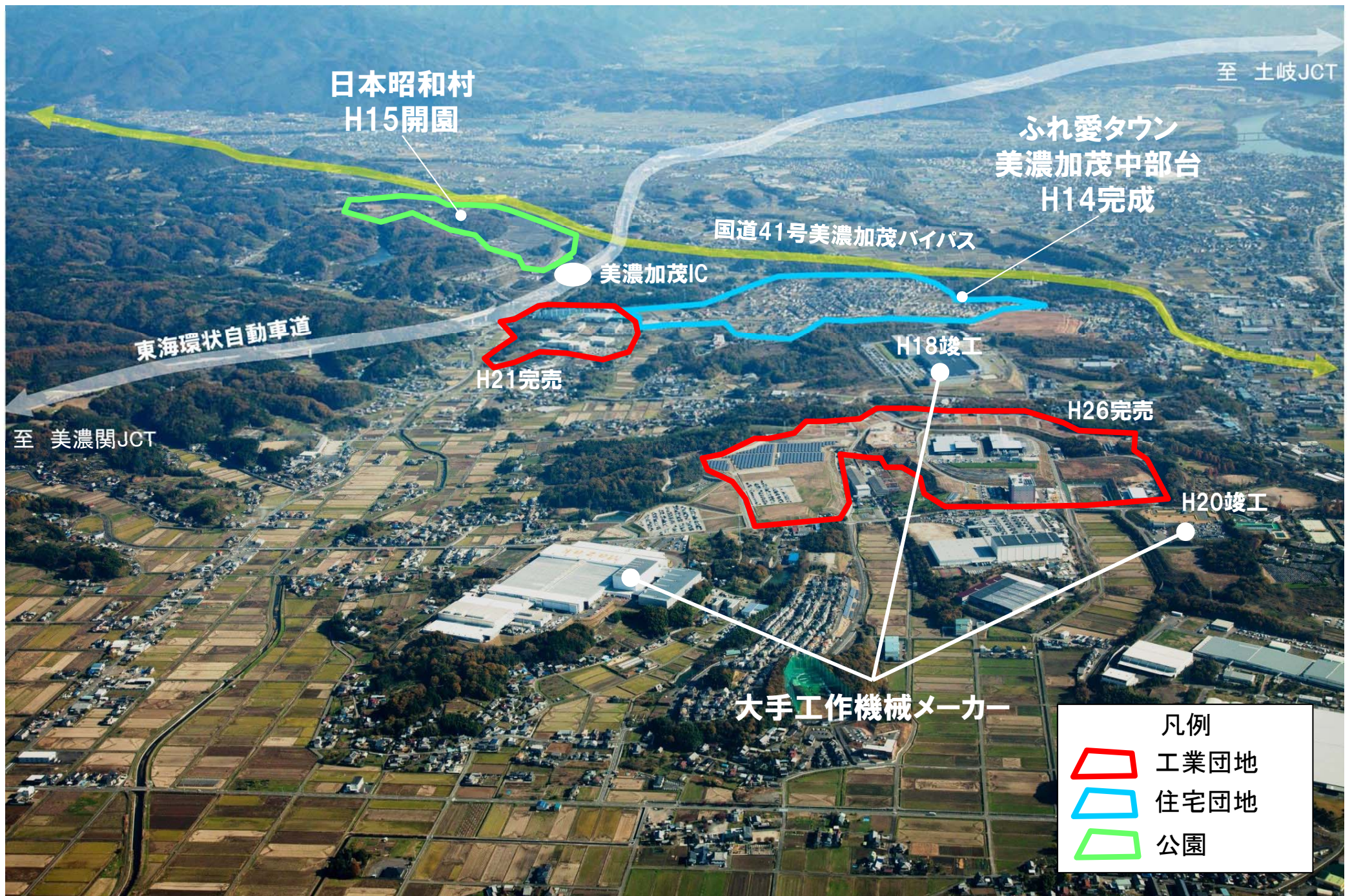


可見市・御嵩町



- 凡例
- 工業団地
 - 集客施設
 - 公園

美濃加茂市





本巢市



大野町・神戸町



大垣市





- 凡例
- 工業団地
 - 集客施設
 - 公園



四日市市

